

# 学生相談室ってどんなところ？

メンタル面や  
ハラスメントの相談と  
障がい学生の修学支援に  
応じています

# こんなことはありませんか？

- ・友達ができない、友達とうまくいっていない。
- ・嫌がらせを受けている。
- ・自信がない、やる気が出ない。
- ・眠れない、食欲がない。
- ・授業についていけない、やりたいことが見つからない。



など

# 相談室で話してみませんか？

- ・専門知識を有する相談員（カウンセラー）が相談にあたります。
- ・相談内容によっては学内外の適切と思われる専門機関の紹介もいたします。

守秘義務があります。  
許可なく相談内容を  
漏らすことはありません。

秘密は守られますか？



# 障がい学生の修学支援とは・・・

- 障がいのある学生さんがより良い学生生活を送れるように、学内関係部署と連携を取りながら、支援を行っています。
- 支援要請は学生さんの意思に基づいて実施されます。

[http://www.ait.ac.jp/guide/assets/docs/guide\\_disabled\\_support.pdf](http://www.ait.ac.jp/guide/assets/docs/guide_disabled_support.pdf)

※修学支援の要請窓口は学生サービスグループになります。

※修学支援は合理的配慮に基づいて行われます。

- 修学支援機器の貸し出しも行っています。

# ①物理的な環境面での支援例

- ・移動に困難のある学生さんのために、よく利用する教室近くに駐車スペースを確保できるよう努めます。
- ・移動に困難のある学生さんのために、使用教室をアクセスしやすい場所に変更するよう努めます。
- ・高い所に置かれた図書やリーフレットを取りやすい位置に置いたり、情報を目に入りやすい位置に提示するなどの対応に努めます。
- ・周囲の雑音が気になって集中できない学生さんは座席を前にするなど配慮します。



## ②意思疎通への支援例

- ・シラバスは学内専用ページから印刷できるように情報提供をしています。
- ・聞きながらノートをとったり、理解したりすることが困難な学生さんに対して、修学支援機器の使用を許可しています(例外となる講義あり)。
- ・口頭の指示では伝わりにくいときには、書面や学生専用ネットで伝えています。
- ・試験や講義に関する重要事項や指示を口頭以外に板書やプリント、学生専用ネットで伝達しています。



## ③ 慣行などの変更による支援例

- ・ 集団演習や発表等で、集団の前でやることが成績評価の本質でない場合には正当な理由があれば個別での演習や発表を認めています。

- ・ 障害のある学生さんが参加している実験・実習・演習等において、ティーチングアシスタントがさりげなく支援をします。

- ・ 障害によって制約を受ける履修科目（例：身体障害者の体育など）に関しては、同等の単位を補完するような障害による制約を受けにくい授業を確実に履修できるように工夫します。

- ・ ICレコーダーやデジタルカメラでの授業内容の記録を認めています（一部例外となる講義あり）。



# 修学支援機器の紹介



エコースマートペン  
(デジタルペン)

ノートに記入しながら、録音もできるペンです。ノートはデジタル化され、ノートを見ながら録音した内容をポイント毎に再生し、聞き直して復習することができます。



ノイズキャンセリング  
ヘッドホン

電車等の機内騒音、空調音、教室内のざわつき等の騒音を軽減します。雑音が多く疲れてしまう、集中できないという人に効果的です。

他にデジタル耳栓や忘れ物防止タグもあります。

# ハラスメントとは・・・

- 教育機関で生じやすいのが相手の意に反する不適切な言動によって相手を不快にさせたり、不利益や損害を与えて適切な学業環境を損なうアカデミック・ハラスメントです。
- これらは教員－学生間、先輩－後輩間など上下関係を盾にして行われることが多く、パワー・ハラスメントでもあります。

# もしかしたら貴方も被害者かもしれない

- 不当な要求に応じなければ単位や卒業を認めてもらえない
- 不当に実験器具を使わせてもらえない
- 長時間の叱責・非難や人格を批判するような言動をされる
- SNSなどへの誹謗中傷の書き込み
- 無視や仲間外れ など



悩んだら相談室へ！！

# 相談は、いつ、どこでやってるの？

- 月曜～金曜  
9:00～16:30まで 開室しています。
- 場所は第2本部棟4階です。
- 週1日、自由ヶ丘キャンパスの420室でも相談に応じています。
- 詳しくは学生便覧をご覧ください。

